

大修館書店の拡大教科書について

アピールポイント

1. 本文

- ① 字体は文字認知のしやすさを考慮して丸ゴシック体を使用し、適切に拡大しています。
- ② 本文中で太字にして強調した語句については、角ゴシック体を使用しています。
- ③ ルビや上付き文字、下付き文字などは本文の2分の1以上の大きさにしています。
- ④ ルビが長い文字については、ルビに合わせて字間を広くとっています。

① → 運動は体の器官に刺激を与え、その発育・発達をうながします。たとえば、運動することによって骨はじょうぶになり、筋肉も太くなります(図1)。また、ねばり強さにかかわる呼吸・循環の働きも、ジョギングや水泳などの運動によって効果的に高めることができます①、④

② →

③ →

④ →

【原本 p120】

① → 運動は体の器官に刺激^{しげき}を与え、その発育・発達をうながします。たとえば、運動することによって骨^{ほね}はじょうぶになり、筋肉^{きんにく}も太くなります(図1)。また、ねばり強さにかかわる呼吸^{こきゅう}・循環^{じゅんかん}の働きも、ジョギングや水泳などの運動によって効果的に高めることができます①、④

② →

③ →

④ →

【拡大版 p120-1】

- 色文字や白抜き文字は全て黒文字にしています。

①体の変化 発育・発達^①がめざましい中学生の時期に、継続的に運動やスポーツをおこなうと、体にはさまざまな変化が起きます(図1)。これは、体の各器官が、日常生活よりも強い運動の刺激にあわせて、より発育・発達するからです。

【原本 p18】

①体の変化 発育・発達^①がめざましい中学生の時期に、継続的に運動やスポーツ

【拡大版 p18-1】

- 教科書の内容等については、原則として修正していませんが、「右の図の～」など、他の要素を示す際は、拡大版でのレイアウトに合わせて「次ページの図の～」というように表記しています。

- 原本で本文の横に側注を設けている場合、拡大版では内容上のつながりを考慮して同一ページもしくは見開きページ内に配置しています。

ただ、むりに運動をしすぎると、けがや故障^{こしょう}など、かえって健康をそこなうこともあるので、注意が必要です④。

④野球肘、ランナー膝などのスポーツ障害を起すことがあります。体育編「2-3 運動やスポーツの安全なおこない方」(30-1～31-6ページ)参照。

【原本 p121】

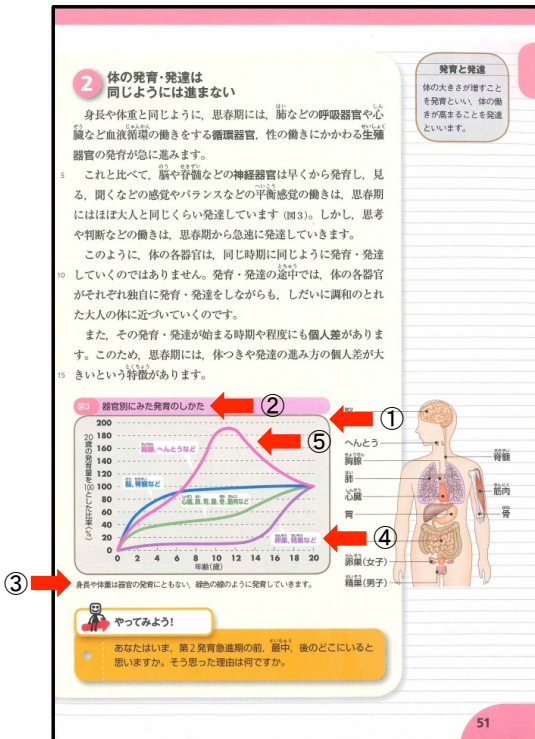
ただ、むりに運動をしすぎると、けがや故障^{こしょう}など、かえって健康をそこなうこともあるので、注意が必要です④。

④野球肘、ランナー膝などのスポーツ障害を起すことがあります。体育編「2-3 運動やスポーツの安全なおこない方」(30-1～31-6ページ)参照。

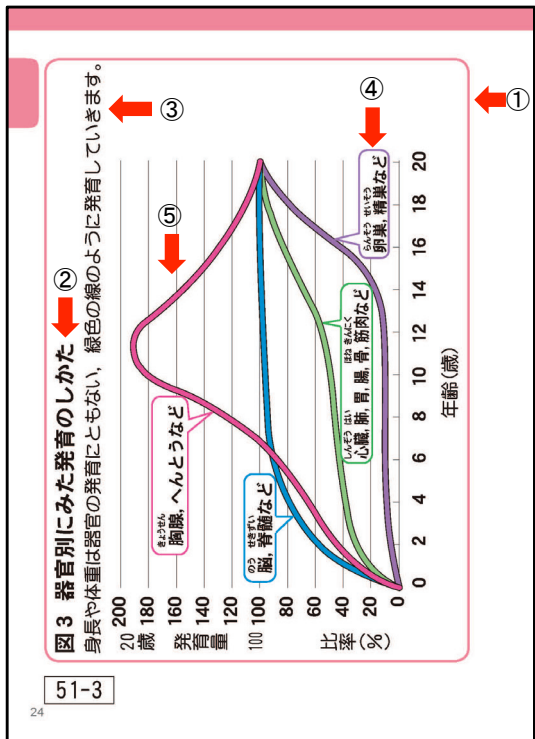
【拡大版 p121-3】

2. 図表

- ① 十分な拡大率を確保するために、図やイラストは必要に応じて横向きにして拡大しました。
- ② 文字の背景に色アミが付いている文字が見にくい場合は、背景を削除しています。
- ③ 図と文字によって説明しているところは、図についての理解を先に行うために文字による説明を先にして、その後に図を示しています（原本では図の下にキャプションがあります）。
- ④ 図の中に示されている色文字はそのままでは見にくいので、拡大した黒文字で打ち直しています。
- ⑤ グラフが読みやすくなるよう、輪郭を黒で縁取りしています。



【原本 p51】



【拡大版 p51-3】

3. ページ表記

- 拡大教科書のページ番号の表記は、原本教科書との対応関係がわかるようにするため、ページ数にハイフンでつないで、拡大教科書での連番数を追記しています（例、50 ページが 2 ページにわたる場合、「50-1」「50-2」と番号を付ける）。
- 空白のページができる場合は、ページ番号を付ける位置に「空白ページ」と記しています。

4. 分冊

- 拡大教科書を 1 冊にまとめようとするとう厚くなりすぎるため、4 分冊にしています。分冊にする際には、章の区切りを考慮しています。
- 全ての分冊に目次を設け、その分冊で扱う範囲と扱わない範囲を色分けしています。
- 全ての分冊に索引を設け、その分冊で扱う言葉は濃く、扱わない言葉は薄く示しています。